

■第5回淀川水系猪名川圏域河川整備懇談会における委員指摘・質問事項

指摘・質問事項	委員	懇談会での対応	今後の対応
1 ・最明寺川の右岸（南側）の地区では、今回（台風18号）は6軒の床上浸水が発生し、道路はひざ上まで浸水した。川西市の方から洪水が来るので、この地区にも調節池を作ってほしい。	久保田	河川整備計画には河川の整備によって対応できるところと、河川の整備以外で対応するところがある。今回の浸水被害は内水によるものであり、河川整備とは別の対策で対処することになる。本日欠席の宝塚市にも詳細に伝え、今後の河川整備計画の参考とする。	（対応案）【宝塚市回答】宝塚市において、浸水の原因となる水路への雨水流入量を軽減するため、他の支川への切り回し等、総合治水による対策を検討していく。
2 ・河川整備計画と総合治水推進計画との関係を教えてほしい。	三橋	河川整備計画は、主に河川管理者が実施する今後20～30年間に計画的に進める整備内容を定める。総合治水推進計画は概ね10年間の（下水整備も含めた）ハード整備に加え、校庭で一時的に雨水を貯留したり屋根に降った雨をタンクに貯留する「流域対策」、ハザードマップの作成等の「減災対策」を盛り込んだもの。河川整備計画の概ね30年間の中から10年の河川整備を切り出すとともに、より具体的な対策を総合治水推進計画に盛り込む。	
3 ・「治水に対する考え方」において、計画的河川整備を進める場合と局部的に進める場合の記述があるが、総合治水はどちらに入るのか。あるいは別な項目を立てて総合治水についての記述を入れるのか。	大石	具体的な表記方法についてはこれから検討していくが、整備計画の中において、総合治水に流域一体で取り組むという表現を盛り込みたいと考えている。	
4 ・平成26年8月洪水で宝塚市を含めいろいろな地区で浸水被害が発生しているが、河川整備計画にそれらへの対策についてどのように反映されるのか教えてほしい。	三橋	被災箇所の復旧については河川整備計画に定める整備ではなく、災害復旧により対応する。なお、被災箇所については災害査定で概ね採択されると考えている。採択から漏れたところがあれば、県や市町の自らの財源で復旧を行っていく予定である。	
5 ・宝塚市では、浸水した駐車場の嵩上げを行うと聞いているが、低い地区の浸水被害をより助長することになると考える。	久保田	ご意見を宝塚市に伝える。	（対応案）【宝塚市】当該駐車場の嵩上げについては、近隣住民の方々との協議結果を踏まえ、実施の内容や是非について検討していく。
6 ・総合治水の考え方を河川整備計画に反映し、国・県・市町が一体となって治水に取り組んでいく表現を盛り込んでほしい。	大石	具体的な表記方法についてはこれから検討していくが、整備計画の中において、総合治水に流域一体で取り組むという表現を盛り込みたいと考えている。	
7 ・複数の管理者がまたがっている河川の特徴を踏まえて、国・県・市町が一体になって取り組むという表現をいれるなど検討を願いたい。	大石	管理者で調整して表現を検討したい。	
8 ・最明寺川周辺が浸水する話はよく聞く。小中学校からは「災害・洪水と生物」という話をしてほしいというリクエストやホテルを守りつつ災害をどうしたらいいかといった環境を守りながら治水を考える相談も受けている。この地区で、総合治水に重点的に取り組んではどうか。	三橋	浸水の発生原因には、強い雨が降って河川に至るまでの下水道で能力をオーバーすることによる内水氾濫や河川から溢れる外水氾濫などいろいろあり、被害の原因に応じて流出抑制対策も含めた様々な対策を考えていくことが必要である。総合治水推進計画に盛り込めるかどうかかわからないが、被害を軽減する対策を市と相談していきたい。	
9 ・宝塚市南ひばりガ丘地区周辺は、もともと沼地を宅地開発したところであり、水が集まってくる。最明寺川は昭和42年に災害があり、県が川を掘り下げて大きくしてくれ	久保田	参考にさせていただく。	

	指摘・質問事項	委員	懇談会での対応	今後の対応
	<p>てよかったが、最明寺川右岸側の低い地域には川西市側から水が流れてくるようになっている。今までは降った雨が地中に浸透していたが、新たな宅地開発により降った雨がすべて低い土地に流れてくるようになった。</p> <p>・最近では寺畑前川がよくなってきている。今までは堤防からあふれていたが、河川の整備によって、ここ10年ぐらいは浸水していない。</p>	櫻井		
10	<p>・洪水時には水路一杯に水が流れて恐怖を覚えるほどであり、避難時の事故からの観点からも対策を考える必要があると思う。</p>	三橋		(対応案) 今後の整備を進める上で、参考にさせていただく。
11	<p>・猪名川の支川の上流に砂防ダムが建設されているが、堆積土砂で一杯になっている。砂防ダムの堆積土砂を取り除いてほしい。最近では、山崩れ等でほとんど埋まっているような状態である。</p>	水口	<p>砂防ダムは山地から出てきた土石を留めて下流の住宅地等に被害が及ばないように整備している。整備当初は、土砂を溜めて下流を守る機能があるが、20年～30年経つと堰堤の水通しまで土砂が溜まり、溪流の勾配が緩くなることで下流への土砂災害を防ぐ機能をもっている。このことから、基本的に砂防ダムに堆積した土砂の撤去は現在のところは考えていない。なお、砂防ダムより下流の河川に流出して土砂が堆積していないかは、河川管理者が十分に監視し、堆積がひどいところは順次土砂を撤去していく考えである。</p>	
12	<p>・猪名川ではゴム堰(ラバーダム)になっているところがあるが、小戸井堰では固定堰が残されている。小戸の公園のところも工事されているようだが。</p>	坂井	<p>【オブザーバー・猪名川河川事務所】小戸のドラゴンランドのところの池田床固(直轄整備区間)の話だと認識している。現在、河川整備計画で小戸の基準点で2,100m³/sを流す河川改修を進めている。ご指摘のとおり池田床固は洪水時に水位の上昇があるため、固定堰を少し切り下げて2,100m³/sを流す対策を現在取り組んでいる。河川整備基本方針に向けての長期的な計画としては床固自体を抜本的に改修するという事も視野に入れてこれから計画していく必要があると考えている。</p>	
13	<p>・魚が遡上しないため、漁業組合としてはゴム堰を問題だと認識している。魚道を作ってほしい。</p> <p>・河川改修によって洪水時に川の流れるスピードが早くなっているため、今は魚が避難する場所がなくなっている。大水が出たら押し流されずに魚が避難、休憩できる場所をつくってほしい。川魚に愛情をもった河川改修を考えていただきたい。</p>	高岡	<p>最近では洪水の研究により自然の力を利用しながら河川の形状がつくられるような川づくりもやっている。また、洪水のときに魚が逃げ込めるような護岸の構造も研究している。今後の事業において、先生や漁業組合の指導をよろしくお願ひしたい。</p>	(対応案) 魚に配慮した内容については本文に記述する。
14	<p>(直轄整備区間の)伊丹市の下河原地区にはヒメボタルの群生地があるが、これらの保全に配慮して河川工事を行っていただき、住民から喜ばれている。今後ともヒメボタルに配慮した工事をお願いしたい。</p>	藤原	<p>【オブザーバー・猪名川河川事務所】ヒメボタルの保全に配慮した河道の掘削工事を実施させていただいた。この取り組みを引き続き行い、モニタリングによって影響がないように配慮し、治水事業を推進していきたいと考えている。</p>	
15	<p>・最明寺川のJRから宝塚と川西の市境では、アドプト計</p>	久保田	<p>河川の管理面でアドプト活動の団体がいろいろ活動されていることは認識している。</p>	

指摘・質問事項	委員	懇談会での対応	今後の対応
画によって、各自治会でガードレールから川側に木や草を植えている。堤防敷にバケツを置き、水を溜めることによって蚊が湧いたりするので、堤防のガードレールから川にかけては何も植えないでほしい。		水やりのホースの放置や川の中で大きく育った木など、河川の安全確保の面で適切でない活動には定期的に指導を行っている。	